



常議員立候補のご挨拶

田 中 秀 幸

この度、PA会からご推薦を頂き、令和2年度の日本弁理士会役員定時選挙において常議員に立候補させて頂くことになりました田中秀幸です。よろしくお願ひ致します。立候補にあたり簡単ではありませんが自己紹介させて頂きます。

私は、東京都の出身で、大学及び大学院では宇宙線などの素粒子物理学、原子核物理学に関する実験的な研究をしてきました。就職した電機メーカーでは研究所に配属となり、研究員として研究開発に従事することになりました。

研究所では入社以来、光に関連する基礎研究や光を利用したセンサーの開発などに従事しました。

ホログラムという光学素子の研究を立ち上げる際はボストンにあるMITのメディアラボを訪問して当時最先端の立体動画生成技術について議論させて頂き機会を得ました。

当時会社では発明者が自分の発明を明細書類に仕上げ特許提案をしていました。またその頃弁理士という資格があることを知りました。自分の発明について特許提案をしているうちに弁理士資格を持っていれば自分の発明の明細書を書くのに役立つと思ひ弁理士資格を取ることを考えました。ですが調べてみるとこの資格を取るのはいへん難しいのと研究開発の仕事が忙しいのとで、この資格のことは忘れてしまっていました。

研究員として20年ほど勤務したころ知財部門へ異動となりました。異動の話をもらいふと頭に浮かんだのは昔取ろうと思つた弁理士資格のことです。夢中で勉強して幸ひ資格を取ることができました。

会社の知財部門では国内及び外国特許の権利化業務、係争対応、契約業務など様々な面から知財と関わりを持つことができました。なかでも特許についていわゆる内外業務には最も長く従事し、この間ワ

シントン大学のサマーセミナー(CAS RIP)への参加、外国の代理人を訪問して業務上の課題を解決する活動などを通じて外国関係にも知財関係の知人、友人ができました。

弁理士になりたての頃にPA会の研修に参加させて頂いているうちに渡邊伸一先生からお誘ひをいただきPA会に入会させて頂きとともに研修部会に参加させて頂きようになりました。それ以来研修部会には10年以上お世話になり現在は幹事を務めさせて頂いています。

アウトドア同好会には入らせていただき10年近くになります。始めは参加するだけだったのですが近年は山登りなどの企画もさせて頂き楽しんでやらせていただいています。

日本弁理士会では、企業弁理士知財委員会に6年間所属させて頂き、知的財産に関する企業側から見た課題に取り組むなどの活動を通じて多くの友人を得ることができました。

現在も所属する国際活動センターでは本年2月にプノンペンで開催されたアジアセミナーにおいてチューターを担当させて頂きました。

本年度から所属している知財経営センターでは総務的な視点から会務活動をさせて頂いています。

また日本弁理士クラブではPA会での研修部会の経験を生かして研修委員を担当させて頂いています。

常議員に当選させて頂くことになりましたら、今までの経験を活かし日本弁理士会並びに事務所勤務に勤務される会員及び組織に勤務される会員を含めすべての会員の皆様のために全力を尽くす所存であります。

皆様のご指導とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(文書責任者：渡邊伸一)